

日本の鉄道150年

鉄道都市 東京の成立

2022年
10月5日(水)

19:00~20:30
(18:30開場)

講師 小野田 滋 (土木学会フェロー)

定員 200名
(事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費 1000円

会場 日比谷図書文化館
地下1階 日比谷コンベンションホール (大ホール)

日本の都市は、世界的に見ても鉄道網が発達していると言われています。特に東京は、明治時代から鉄道網の整備が推進され、交通機関としての本来の目的のみにとどまらず、都市の骨格形成や街づくり、人々のライフスタイルなどにも大きな影響を及ぼしました。東京の発展は、鉄道の存在なくしてあり得なかったと言っても過言ではありません。今回は、首都圏における鉄道網の整備がどのように行われ、私たちの生活にどのような影響を与えてきたかを振り返ります。



初代・新橋駅



外濠沿いの新永間市街線高架線



小野田 滋 (おのだ しげる)

1979年日本国有鉄道入社。1981年鉄道技術研究所地質研究室。1988年西日本旅客鉄道(株)(出向)。1998年東京大学博士(工学)。2001年(社)海外鉄道技術協力協会(出向)。2010年(公財)鉄道総合技術研究所情報管理部担当部長、2022年同アドバイザー。2010年~土木学会フェロー、2015年~文化庁文化審議会第二専門調査会委員。NHKテレビ番組「プラタモリ」にも案内人として出演。

* 画像はすべて講師所蔵



東京駅



山手線の完成

お申込み方法

ホームページのお申し込みフォーム、電話 (03-3502-3340) いずれかにて、
①講座名(または講演会名)、②お名前 (よみがな)、③電話番号、
 (「お申込みフォーム」からの場合は④メールアドレス) をご連絡ください。
* 小学生以下のお子さまが参加される場合、保護者の同伴が必要です。
(同伴者の方にも参加費が必要です)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。
・入館の際は、手指消毒・検温、マスク着用のご協力をお願いします。
・体調のすぐれない(発熱、咳、倦怠感など)場合は、ご来館をご遠慮ください。

今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

千代田区立日比谷図書文化館

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>



● 都営三田線「内幸町駅」
A7出口/徒歩3分

東京メトロ●丸の内線●日比谷線「霞ヶ関駅」
B2出口/徒歩3分

東京メトロ●千代田線「霞ヶ関駅」
C4出口/徒歩3分

JR「新橋駅」
日比谷口 (SL広場) /徒歩10分